



ロータリー:  
変化をもたらす

国際ロータリー第2750地区 東京日野ロータリークラブ

# Weekly Report

クラブテーマ: クラブ  
チーム力の強化

〒191-0031  
日野市高幡3-8 田中ビル3F  
TEL: 042-594-3711  
例会: 毎週水曜(12:30~)  
会場: 高幡不動尊 客殿  
URL: <http://www.hino-rotary.org>  
【発行】公共イメージ・会報委員会

## <2017年10月4日 第2499回例会 No.53-13> 『卓話例会 ~日野市の人口の現状と課題~』

### 本日の例会@高幡不動尊例会場

#### 役割分担

司 会: 小倉 裕美 会員  
開・閉会点鐘: 小島 馨 会長  
ソングリーダー: 松浦 信平 会員  
国歌、ロータリーソング(『それでこそロータリー』) 斉唱

### 本日のゲスト

卓 話 講 師:  
日野市地域戦略室 副主幹 中平 健二郎 様

### 例 会 進 行

#### 1. 会長挨拶: 小島会長



改めましてこんにちは、今の季節というのは紅葉ですとかスポーツですとか、色々な方面で楽しむべきものが多様にあり、一年でも一番良いシーズンなのではないかなと個人的には思います。一方で、この時期は気候が変わりやすく、明日は気温が下がるそうです。10月になっても尚暑かったり、寒くなったりと、気候の変動が激しいですが、それぞれ体調を整えてご活躍できるようにと思います。

また、選挙の告示日がせまっています。自分の生活に関わることで、貴重な一票を慎重に考えたうえで投票を行っていただきたいなと思います。

#### 2. 幹事報告: 田中幹事



・2017/10月 ロータリーレートは1ドル112円です。  
・国際ロータリー第2700地区ガバナー 安増 惇夫 様より九州北部豪雨災害義援金のお礼等のご報告がきております。

- ・各クラブで例会変更の案内が届いております。
- ・今朝、理事会がございました。決定事項については次回

以降の例会で報告します。

### 各委員会等報告

#### 1. ゴルフ会 野村会員



多摩ゴルフ会より先日開催されたチャリティブロック大会について、多くの参加者により1,135,333円集まりました。今回は東京飛火野ロータリーが寄贈先を決めました。日野市福祉協議会を始め日野市内の8福祉施設に寄贈しました。

#### 2. 公共イメージ・会報委員会 西山委員長



先日、広報関係のセミナーがあり、久しぶりに地区に出てきました。自分にとっては新しいことばかりで大変勉強になったのです、一つ実行しようと感じたことは、広報活動としてするためには活動以外でも常にロータリーバッジをつけることです。今年1年、仕事等でもバッジをつけて活動したいと思いますので、よろしくをお願いします。

#### 3. 会員増強・職業分類委員会 小峯委員長



会員増強委員の活動を本格的に始動する前に新会員候補が複数名決まっております、ありがたく感じております。それとは別に地域交流会の開催をいたします。来年1/24(水)会員一人が一人ゲストをお連れして、ロータリーへの理解、会員増強につなげていただく趣旨となっていますので、引き続き皆様のご協力をお願いいたします。また、地区の方から会員増強された方への表彰がございますので、そちらも利用してますますの会員増強に勤めていきたいと思っております。

#### 4. 社会奉仕委員会 松浦委員長



来月 11 月の 22、23 日にたかはたもみじ灯路が予定されています。もともと商店会主催でしたが、規模の拡大に伴い、ロータリーにも参加依頼があり、地域との繋がりの観点から参加することに決定いたしました。「夢灯りコンテスト」の担当になりますので、後日、改めて詳細をお知らせいたします。

#### 5. ニコニコ

後述します。

#### 6. 月例祝賀等

後述します。

#### 本日のメインプログラム

#### 「日野市の人口の現状と課題」

講師：中平 健二郎 様

#### 講師紹介：



#### 中平 健二郎 様

- ・日野市 地域戦略室副主幹

#### <略歴>

- ・日野市では資産税課、都市計画課等での勤務経験を持ち、現在はまち、ひと、仕事に関わる「生涯活躍の町」のプロジェクトを進めている。

#### 卓話内容（概要）

日野市は都内 2 3 区の変動程ではありませんが、国勢調査によると多摩地域で一番人口が増加している市です。人口変動の要因は、出生、転居等による自然増減の影響は少なく、主に社会増減の影響によるものが多く、年々日野市の人口は微増しています。高齢化が進む日野市ですが、出生数が横ばいで変わらず、子どもの数は大きく変わっておりません。巷の待機児童問題は日野市でも発生しており、毎年のように市内の保育園を増やしていますが、一向に待機児童は減りません。日野市に流入している人口の内訳をみると、日野市は生産年齢人口が増えており、高齢人口が



流出気味なのが気になります。

具体的に日野市の問題を掘り下げていきたいと思えます。人口は増えればいいというわけではなく、その分、当たり前ですが、将来の高齢化率が高くなります。日野市でも近年中に後期高齢者の人口が爆発的に増える市の一つです。高齢化の問題として、75 歳以上の後期高齢者になると、病気を患う確率が高くなり、それにより病院、介護施設が足りなくなることは明白です。この状況を見て、国が掲げているのが、「生涯活躍のまち」(CCRC) といって、都市部が高齢化社会になる前に、プレシニア世代を人口が減少気味の地方に移住してもらうことを考えていますが、やはり住み慣れた町に住みたいという方が多く、上手くないのでは、と言われているのが現状です。



日野市は大坪市長が就任されてから市政の基本方針としてとして、①住み慣れた地域で生き看取られる暮らし ②福祉・医療の展開 ③ライフステージに合った

居住循環を整えることを打ち出しており、その中で住み替えを地方の中で行えないかと考えています。日野市でも高齢化が高かった多摩平地区の基盤整備を見直し、多摩平の町に商業施設やスポーツ施設等を整備しました。この意図は新しい住民が増加するようにする、子どもから高齢者までが交流ができるようにする、高齢化向けの間取りで町中も歩いて暮らせるように配慮する、地域の中で自立して暮らせる町づくりをしているということです。

一方で課題であるのが市の南側の丘陵地帯です。戸建住宅が多いこの地区は世帯主も高齢化しており、空き家の発生、公共交通機能の需要が高まること、買い物難民の増加が懸念されています。年代によって健康課題が変わりますが、60 代になると運動障害、寝たきりや痴呆等が課題になる。そこで、先ほどの地域内で住み替えを行う可能性を考えていきたいのです。地方への移住は今まで築いてきたコミュニティ等を手放すことになるので心理的負担も大きいと思いますが、地域内であればある程度のコミュニティを維持した生活ができるはずなので心理的にも負担が軽減されるのではないかと考えられるからです。

更に、高幡等の団地についても高齢化が進んでおり、半数以上が賃貸であるため、こうした方は金銭的に住み替えを行うことが難しい方であると思えます。そうした方々には移住ではなく、その地区で持続的な生活ができるように

考えています。高齢者だけですと地域の活性化が進みませんので、若い世代を取り入れつつ、世代の更新をすることが必要でしょう。戸建住宅地域は市内の企業と連携し、働き方改革の考え方の一つである「職住近接」の考え方から若年の労働者の受け入れ先としても考えられます。団地は比較的安価な家賃なので、若年層も入りやすく、大きな団地のコミュニティを求める人にも需要があると思います。

住まい方の考え「地域包括ケア」というのは町づくりをする上では最近になって考えが出たことです。そうはいつでも、一番大事なのが本人の心構え、安定した住まいの環境の二つが整って生活支援、福祉サービス、介護、医療の連携が生まれます。これからの町づくりには住民の方々ともしっかりと議論して、町づくりを進めなければならないでしょう。



2025年問題で、認知症の方が増加する。2040年問題は周りに自身を支えてくれる人がいない等、国的な問題を抱えることになりま

す。しかし、過去と今では世代の概念が異なり、昔と今では平均寿命が異なります、悲観するばかりではなく、世代の若返り、高齢の方も社会を支えるという考え方を取るなど、時代に即した対策をとればそこまで悲観することではないのかなと思います。

今後こういった場で進捗の状況を報告ができればと思います。本日はありがとうございました。

## 月例祝賀 親睦委員会より

### ☆10月結婚日記念☆

野村会員 藤林会員 小宮会員  
小峯会員 板谷会員

### ☆10月誕生日記念☆

疋田会員

## 本日のスタッフ



## ニコニコ報告 親睦委員会より

小島会長 日野市地域戦略室中平健二郎様、今日は有難うございます。  
田中幹事 中平様ようこそ！卓話たのしみにしています。すっかり秋になりましたね。皆様、例会に出て不動尊の秋を楽しみましょう。  
藤林会員 長らく例会を欠席しておりましたが、やっと今日出席することができました。皆さん、よろしくお願いします。

### 17-18年度 ニコニコ 合計

本日のニコニコ：	7,000円
累計	239,300円
ビジターフィー：	0円
累計	21,000円

## 出席報告 出席奨励委員会より

事前MU：熊井会員、成田会員、横倉会員 先週のMU：古屋会員

日	会員総数 (出席免除数)	出席総数 (免除者出席数)	MU	欠席	出席率
本日報告 (10/4)	35 (3)	21 (1)	事前3 (0)	9	72.73 %
前回訂正 (9/27)	35 (3)	16 (1)	7 + 1	9	72.73 %
前々回訂正 (9/20)	35 (3)	23 (2)	(4) + 0 + 0	8	79.41 %

(発行人：会長：小島馨、幹事：田中くに子、公共イメージ会報委員長：西山尚之／制作：東京日野RAC：金子)